

北千葉広域水道企業団

北千葉広域水道企業団50周年記念誌



北千葉広域水道企業団  
50周年記念誌





**北千葉広域水道企業団  
50周年記念誌**

# 企業団設立 50 周年を迎えて

北千葉広域水道企業団は、千葉県、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、関宿町（現野田市）、沼南町（現柏市）、習志野市及び八千代市の1県7市2町を構成団体とし、昭和48(1973)年3月1日に設立され、令和5(2023)年に50周年の節目を迎えることができました。これまで企業団の事業運営にご尽力いただいた関係者の皆様、企業団の用水供給事業の発展に貢献してきた先人に衷心より感謝申し上げます。

昭和54年6月から一部構成団体に、昭和56年4月には全構成団体に給水を開始し、昭和56年度に約38百万立方メートルであった年間給水量は、令和4年度には4倍以上の約1億64百万立方メートルになりました。

この間、構成団体の水需要の動向に合わせて第一期から第四期に区分した建設工程により計画的に整備を進めた創設事業を完了し、また、施設の耐震化、高度浄水施設の建設、バックアップ機能の強化など安全で安心な水道用水の安定供給に努めてまいりました。

現在、水道事業を取り巻く環境は、人口減少に伴う水需要の減少、施設の老朽化により厳しくなっています。そして、施設整備から施設の維持・更新へと時代が移り変わっていく中、引き続き健全な経営、計画的な施設の更新、地震や風水害など災害への対策など、事業の持続性を確保する施策を着実に執行し、「将来に亘り信頼される水道」の構築に邁進してまいります。

最後に、企業団設立50周年の節目にあたり、これまでの円滑な事業運営にご協力いただいた関係者の皆様に改めて敬意を表し、心より感謝申し上げますとともに、皆様の一層のご指導、ご支援をお願い申し上げ、発刊のごあいさつといたします。

令和5年10月

北千葉広域水道企業団  
企業長 倉持 俊哉

## 目次

### 北千葉広域水道企業団 50周年記念誌

ごあいさつ .....P1

はじめに .....P3

第1章 50年の歩み .....P5

第1節 創設の経緯

第2節 創設事業

第3節 バックアップ機能の強化

第4節 東日本大震災

第5節 ホルムアルデヒド生成物質流出事故

第6節 高度浄水施設建設事業

第7節 沼南調整池設置事業

第2章 企業団の水源・施設の概要 ..... P25

第1節 水源

第2節 施設概要

第3章 安全で安定した給水のために ..... P45

第1節 水道事業ビジョン（北千葉水道新時代 21）

第2節 安全で良質な水の供給（安全）

第3節 安定した給水（安定）

第4節 健全な経営（持続）

第4章 構成団体 ..... P61

千葉県 松戸市 野田市 柏市

流山市 我孫子市 習志野市 八千代市

資料編 ..... P69

企業団のあゆみ 企業団の組織 歴代企業長一覧

議会役員一覧 運営協議会等役員一覧 監査委員

企業団組織の変遷（抜粋）





# はじめに

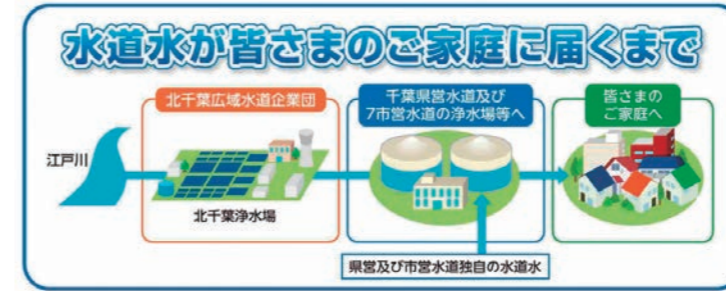
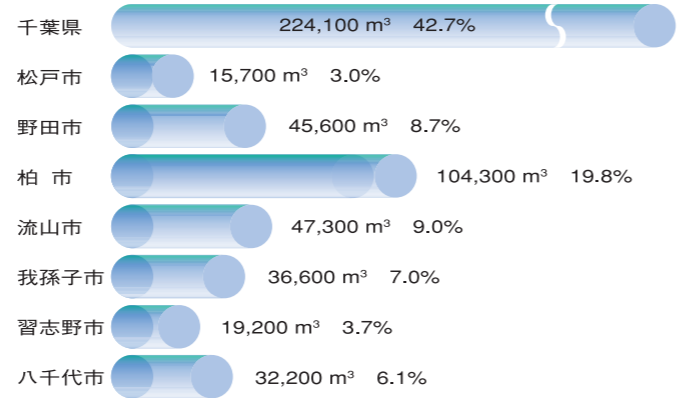
## 北千葉広域水道企業団とは

千葉県、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、習志野市及び八千代市の1県7市が共同して事務を処理するための一部事務組合であり、水道用水供給事業の経営に係る施設の建設及び維持管理等の事務を処理する地方公営企業です。

また地方公営企業の経営に関する事務を共同処理する一部事務組合のことを企業団といいます。

北千葉広域水道企業団は、水道水を各家庭に給水している構成団体の受水槽に、安全で良質な水道用水を安定的に供給する「水道の卸」の役割を担っており、現在一日最大525,000m<sup>3</sup>の水道用水の供給を目途に事業を進めています。

計画一日最大給水量構成団体別内訳



主な施設

- 北千葉取水場 (松戸市)
- 北千葉浄水場 (流山市)
- 花井中継ポンプ場、中里中継ポンプ場 (野田市)
- 受水槽 21か所
- 導水管 口径 2,400mm 約5km
- 送水管 口径 2,000mm～300mm 約110km

受水地点 21箇所